

## 「令和7年度 取組状況」及び「令和8年度 教育課程編成と改善策」について

本年度も残すところわずかとなりました。子どもたちは、学習や行事に積極的に取り組むとともに、この一年間の自分自身の成長を振り返っています。令和7年度、本校の教育活動へのご理解・ご協力に深く感謝申し上げます。

「学校教育活動に関するアンケート」にご回答をお寄せいただきありがとうございました。令和7年度の反省と令和8年度の教育課程の編成方針を下記のように報告します。令和8年度も本校の教育活動に引き続きご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

保護者・地域の皆様方に信頼される学校となるよう、教職員一同心を合わせながら精一杯頑張っていく所存です。どうぞこれまで同様のお力添えをよろしくお願いいたします。このアンケートに関するデータにつきましては、今後、学校のホームページにも掲載いたしますのでご覧ください。

～本校ホームページ <https://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310198> ～

### ☆ 回収率 (オンラインでの回答実施)

児童数	回答数	回答率
465	221	48%

### 1 社会に開かれた教育課程の実現

地域とともに子どもたちを育む教育活動を教育の柱にしています。その中でも「ふるさと教育」は、継続して活動を行っています。その成果として、令和7年度の全国学力・学習状況調査では「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか」は13.5%、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」も0.9%全国平均を上回る結果となりました。「ふるさと教育」は、地域の歴史や自然に対して愛する心を育て、社会とのつながりを感じ取ることができています。また、「自分にはよいところがあると思いますか」は90.3%の子どもたちが肯定的に回答していました。実際に体験することで、自信や意欲を積み重ねていくことができ、自己肯定感が高まっています。

今年度は、「みわサポ」という支援ボランティアを保護者に呼び掛け、延べ100人以上の保護者の方が校外学習や実習授業に参加してもらうことができました。来年度も保護者や地域の皆様と子どもたちと一緒に体験するなかで、三輪小学校の特色ある教育活動への理解を深めてもらう予定です。

①学校は、地域人材を積極的に活用した教育活動を行っている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
62	30	5	0	3
92		5		3

②学校は、学校運営協議会の制度を生かし、保護者や地域と一体となって子どもたちをはぐくんでいる。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
31	34	14	4	18
65		18		18

内訳の和は、100%にならない場合があります。

#### ○地域を生かした教育活動の充実

- \* 「ふるさと教育」米作り、里山、鶴見川などの地域資源を生かした体験活動に加え、アンサンブルカンタービレや箏の講師を招いた情操教育を継続・発展させ、「ふるさと教育」を活性化する。
- \* 学校運営協議会（コミュニティスクール）について、制度内容や協議内容が十分に伝わっていない側面がある。学校だよりで学校運営協議会の活動内容についての発信を行い、見える化を推進する。

#### ○地域人材の活用

- \* キャリア教育では、地域の方で専門的な知識を持っている方をゲストティーチャーに招き、自分自身の将来について考える授業を行う。
- \* 幼稚園、保育園、鶴川第二小、鶴川第二中、近隣大学等との連携を一層深める。

③学校は、保護者や地域の方に対して教育活動に関する情報発信している。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
49	37	8	4	3
86		12		3

④学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで、教育活動を公開している。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
61	30	6	1	2
91		7		2

## ○ホームページや tetoru の有効活用

- \*ホームページを充実させ、学校の方針や児童の様子などを随時発信していく。
- \*連絡方法の手段の一つとして、tetoru の有効活用していく。
- \*学校だよりの内容を見直し、保護者や地域にとって必要な情報を掲載する。
- \*学校公開日と保護者会を同日にするなど、保護者が学校行事に参加しやすくなるよう日程を調整する。

## 2 確かな学力

令和7年度に行われた全国学力・学習状況調査の平均正答率では、国の平均と比較すると、どの教科もほぼ平均にまたはやや平均を下回る結果となりました。また、タブレット等の ICT 機器を使って文書やプレゼン（発表のスライド）を作成できると感じている子どもは90%前後であり、平均を約10%上回る結果となっています。「デジタルを活用したこれからの学び推進地区設置校」としての取組が成果となって表れていることがわかります。

今後も児童が楽しいと感じながら、確かな学力を身につけ、意欲的に学習に取り組むための授業改善を進めていきます。

### ○日々の授業の工夫

- \*デジタルを活用しながら、個別最適化、協働的な学びの一体化を目指した授業展開を行う。
- \*全学年において算数または国語での少人数指導・TT（2人体制）指導を実施する。
- \*繰り返しの学習、発展的な内容の学習、体験的学習、課題解決的な学習等を進め、既習事項の定着を図る。
- \*学習用タブレット等の情報機器を活用し、情報活用能力の伸長を図る

①お子様は、各教科の基礎的・基本的なことがらが身に付いてきている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
29	48	17	5	1
77		22		1

### ○学び合いによる学習形態の確立

- \*教員の発問の仕方を工夫し、子どもたちの考えを深め、全体に広げていくような授業を行う。
- \*話し合いの仕方、発表の仕方、資料の読み取り方について手だてを共有し、学年または学校全体で統一していく。
- \*相手の考え方を受け止めながら話し合い活動を進める場である意見交流を意識的に設定し、学びを深める。

②お子様は、自らすすんで宿題や家庭学習に取り組んでいる。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
20	33	27	18	2
53		45		2

### ○家庭学習

- \*宿題や家庭学習のやり方を工夫し、子ども自身が自主的に取り組めるように働きかける。
- \*学習用タブレットの学習アプリによる個に応じた課題を提示する。

③お子様は、学校ですすんで読書をしている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
17	18	25	35	5
35		60		5

### ○読書活動

- \*毎週水曜日の朝に本に親しむ時間を設け、読み聞かせや読書などの活動をする。
- \*読書週間やチャレンジタイムでの15分間の朝読書の取組を通して読書力や言葉の力を培う。
- \*学校図書館・学級文庫の充実を図るとともに、いつも手元に本がある状態にするなど、読書を身近なものにするための工夫をする。
- \*外部講師による読み聞かせや保護者によるボランティア活動である読み聞かせを継続する。

⑤お子様は、ICT（学習機器）を週3回以上活用している。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
27	23	16	12	22
50		28		22

### ○ICT（学習用タブレット）の活用

- \*意見の共有や比較分類などに学習用アプリを効果的に活用する。
- \*タブレット機器の特性を生かした学習計画を立て、主体的な学びを推進する。

④お子様は、英語学習に楽しく取り組んでいる。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
18	24	22	18	19
42		40		19

### ○国際理解

- \*ALT と共同しながら授業をすすめ、実際のコミュニケーションの目的や場面、状況を意識した言語活動の充実を図る。
- \*5年生ではスヌーピーミュージアムでの校外学習、6年生ではイングリッシュフェスタを実施し、体験活動から学ぶ機会を作る。
- \*学校2020レガシーを通して、多様な文化や言語の国際社会で、世界の人々と共生する意識を育成する。
- \*外国の文化や自国の伝統に触れ、様々な国の人との交流を深める。

### 3 豊かな心の涵養（心の教育及び生活指導）

学校だけでなく、家庭や地域があたたかく見守り、愛情をかけ、丁寧に育てていることが子どもたちの様子から伝わってきます。いじめ防止や体罰防止については、肯定的評価 55%となり、わからないと回答した方も 23%でした。学校での取組を家庭に伝え、連携して進めていく必要性があります。学校のきまりについては、子どもたちと話し合いながら内容を改善していきます。

①学校は、いじめ防止や体罰防止に取り組み、子どもの人権を大切にしている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
19	36	17	5	23
55		22		23

②お子様は、学校のきまりや家庭でのきまりを守っている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
26	49	17	6	1
75		23		1

#### ○いじめ防止

- \*いじめに関する授業を実施し、行動の良し悪しだけでなく、いじめを許さないという強い意志をもった子どもを育てていく。
- \*いじめ防止基本方針をホームページに掲載し、周知を図る。
- \*心のアンケートを実施し、未然防止、早期発見、早期対応に努める。
- \*いじめ防止に関する校内研修を年3回行い、教員のいじめに関する意識を高める。

#### ○人権尊重する子どもたちの育成

- \*特色ある教育活動である生命の大切さや人を思いやる児童の育成のために、特色ある教育活動である「ふるさと教育」の指導を充実させる。
- \*異学年交流であるたてわり遊びを計画的に行い、子どもたちの「かかわり」を大切にしながら様々な教育活動を継続する。
- \*道徳では、道徳判断力を養い、生活の中で実践できるよう授業の工夫を行う。また、道徳地区公開講座には地域や保護者、学校と一緒に道徳について話し合う場を設定する。
- \*SNS 学校ルールに見直しや改善を行い、家庭と連携してネットマナーについての指導を行っていく。

③お子様は、あいさつをきちんとしている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
25	49	16	5	5
74		21		5

#### ○あいさつへの意欲を高める組織的・継続的な指導

- \*各クラス1週間ずつあいさつ運動を実施し、あいさつを積極的にを行う子どもを増やす。
- \*地域の登下校見守りや子ども会と連携し、校外でのあいさつ習慣を定着させる。

④お子様は、交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身に付いている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
23	53	17	4	3
76		21		3

⑤お子様は、ICT（学習機器）、スマートフォンなどによるネットマナーが身に付いている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
8	32	29	15	16
40		44		16

### 4 健やかな体の育成

体力調査には、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」等、様々な種目があります。去年よりも数値はあがったもののどの学年も平均を下回る種目がありました。授業や日常生活の中で楽しみながら体力向上を図ることのできる教材教具を開発したり、体を動かすことへの意欲を高めるはたらきかけを工夫したりするなど、一層の改善を図っていく必要があります。

食育の一環として、ホームページや給食の tetoru などを使って、レシピや家庭でできる食習慣のアドバイスを写真付きで配信し、家庭と協力しながら食育を推進していきます。

①お子様は、日常的に、運動やスポーツ（遊びや部活動を含む）に積極的に取り組んでいる。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
42	33	17	6	1
75		23		1

②お子様は、食に対する知識や望ましい食習慣、生活習慣が身に付いている。(%)

とても思う	思う	あまり思わない	思わない	わからない
21	44	26	7	3
65		33		3

#### ○楽しみながら体力向上をめざすことのできる取り組み

- \*体育の授業において楽しみながら体を動かす活動を取り入れたり、休み時間の外遊びを奨励したりし、日常的な体力の向上を図る。
- \*縄跳び「なわとびタイム」やマラソン「みわっこかけ足」のカード等を作成・活用し、運動への意欲を喚起する。

## 5 中学との連携

①学校は、鶴二小（鶴二中）と連携して教育活動に取り組んでいる。（％）

とても 思う	思う	あまり 思わない	思わない	わからない
5	29	13	3	50
34		16		50

中学との連携について「わからない」と答えた保護者が50%となったのは、学校からの情報提供の少なさが要因となったと考えられます。以下のように工夫・改善を推進し、保護者や地域が求めている情報を的確に提供していきます。

\* 6年生の授業参観を実施する。

\* 中学生による職場体験などを通して、中学との連携を図る。

\* 中学生による6年生向けの学校紹介などを計画し、進学への不安を減らすようにする。

## 6 校内環境

⑤学校は、校内整備や校内美化に取り組んでいる。（％）

とても 思う	思う	あまり 思わない	思わない	わからない
25	43	16	4	11
68		20		11

施設の安全確保については、日々の点検の徹底、教育委員会との連携による点検・修繕を行っているところです。家庭と地域とも連携をとり、子どもたちの安心・安全の確保のために一層の改善をしていきます。

\* 中規模改築は今年度に引き続き来年度も行う。外壁の塗装や校舎内の電気関係の整備などを予定している。

## 7 保護者の方からのご意見より

○学校を訪れた際、子どもたちの言葉遣いの悪さを懸念した。言葉の学習、指導を検討してほしい。

（同意見複数あり）

\* 学級活動や生活指導の時間を活用して、相手の立場に立った言葉選びの指導を徹底いたします。保護者会や個人面談でもお子様の言語活動の様子を共有し、学校・家庭・地域が手を取り合って、子どもたちが優しく丁寧な言葉を使いこなせる環境を整えてまいります。また、教職員自身が正しく温かい言葉遣いを実践し、子どもたちの模範となることを組織として徹底していきます。

○不審者に関する情報が少ない。また、詳細が不明なことが多いので記載をしてほしい。（同意見複数あり）

\* 子どもたちの安全確保に向けた迅速な情報共有に努めます。市教委や警察等からの公的な情報を基に、プライバシーへの影響に配慮しつつ、可能な限り具体的な特徴や発生場所、時間帯を明記して配信します。

また、学校での指導内容も併せてお伝えし、ご家庭での注意喚起に役立てていただけるようにしていきます。

○tetoruの配信内容や学校からの配布物などの記載ミスを減らし、内容をより精選してほしい。

\* 正確な情報伝達は信頼の基本です。来年度は、配信・発行前に複数の職員による校正を徹底する体制を整えます。また、一読して要点が伝わる簡潔な表現を心がけるとともに、配信タイミングについても保護者の皆様の利便性を考慮いたします。

○ホームページをもっと頻繁に更新してほしい。遠足や校外学習など親が見られない写真をその日のうちに鮮明な画質でたくさん見れるとうれしい。

\* 来年度は、更新に努めてまいります。ただし、子どもたちの個人情報保護や通信環境、教員の引率業務への支障を考慮し、配信のタイミングには一定の制限を設けさせていただく場合があります。安全を最優先としつつ、学校での生き生きとした表情を可能な限りお届けできるよう工夫いたします。

○三連休の一日を公開日にあてて、2日空いた日に振替休業日の設定していた。児童の体力回復を趣旨とした振替休業日の設定という観点から外れた対応である。

\* 来年度の計画につきましては、標準授業時数の確実な確保と、子どもたちの学習リズム・体調管理の両面から検討を重ねました。その結果、教育課程の編成上、来年度は平日に振替休業日を設けることができない日もあります。再来年度についても町田市教育委員会と相談しながら年間計画を立てていきます。あわせて行事前後の授業においては、負担が集中しないよう学習内容や活動量の調整に配慮してまいります。

○保護者が参加できる会（お手伝いや参観）の日程を前月上旬までに知らせてほしい。働いている保護者が参加できる機会が増えるのではないかと思います。

より多くの保護者の皆様に学校の活動を支えていただけるよう、見通しのもてる「みわサポ」募集を推進します。具体的には、行事日程やお手伝いをお願いしたい内容について、早めにtetoru等で配信・周知できるよう、学校運営の計画性を高めてまいります。「みわサポ」の軸である「できる人が、できる時に、子育てを楽しもう」を合言葉に、気軽にご参加いただける雰囲気づくりに努めます。